

## 第4学年 国語科学習指導案

日 時：令和6年11月20日（水）

学 級：4年1組 25名

指導者：尾久第六小学校 4年担任

自分の考えをもち、主体的・対話的に学びを深める児童の育成  
～国語科「読むこと(説明的文章)」を通して～

### 1. 単元名 リーフレットで外国の方へ伝えよう “届けよう日本の伝統工芸品、広げよう荒川区の伝統文化”

教材名 「未来につなぐ工芸品」

「工芸品のみりよくを伝えよう」

### 2. 単元の目標

|              |                                                                                                                                                                                               |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識及び技能       | ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。((2)イ)<br>・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。((3)オ)<br>・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。((1)カ) |
| 思考力、判断力、表現力等 | ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(Bウ)<br>・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(Cウ)<br>・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(Cオ)                                                         |
| 学びに向かう力、人間性等 | ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。                                                                                                                                             |

### 3. 単元の評価規準

| ア 知識・技能                                                                                                                                                                                | イ 思考・判断・表現                                                                                                                                                     | ウ 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((2)イ)<br>② 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。((3)オ)<br>③ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ) | ① 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(Bウ)<br>② 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(Cウ)<br>③ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(Cオ) | ① 学習の見通しをもって、教材文や、工芸品の資料を読んだり、自分が興味をもった工芸品について調べたりまとめたりしようとしている。<br>② 進んで、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解し、学習課題に沿って、中心となる語や文を見つけて要約しようとしている。 |

## 4. 研究主題に迫るための手立て

### (1) 確かな知識・技能の習得

#### ・語彙力を高める環境整備

工芸品の材料や作り方の工程を示す文章には難解語句が多く用いられている。意味を正しく理解するために、例文や写真を添えながら掲示物として語句の意味を提示する。工芸品名も写真とともに掲載し、生産地や作り方も掲示にまとめることによって、児童の工芸品に対する興味・関心を高める一助としたい。

#### ・読書活動

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の二つの領域にわたる指導事項を中心にした複合単元である。中心となる語や文を見つけて要約し、その学習を踏まえて興味をもった工芸品についてリーフレットを作る活動を行う。児童は本単元のスタートから、リーフレットを作成するゴールを意識するために、伝統工芸品に関する図書の並行読書を行う。教室にはブースを設け、朝読書や図書の時間を中心に多くの本に触れる機会を作る。児童が学習ゴールに向かって自律的に学んでいく過程を大切に指導に当たる。

### (2) 単元構成の工夫

#### ・単元全体の目標の明確化

「読むこと」単元のスタートから、リーフレットを作成するゴールを意識するために、教師が作成したリーフレットを提示する。リーフレットの内容は、自分が興味をもった伝統工芸品について書かれた本の内容を要約したものとする。児童が教材文を要約することの目的をより明確にもつことができるようにする。

児童が1学期に“あらかわ伝統工芸展”にて荒川区の職人が手掛けた多くの伝統工芸品に直接触れる機会を設けた。実際に見て学んだ内容もリーフレットの中に組み込むことで、地域の特色を生かした学びの実現を目指していきたい。そこで、インターネットや資料を活用しながら、あらかわの伝統工芸品を紹介するページも作成する。完成したリーフレットは、荒川区にある日本語学校に展示することで、児童が一層目的意識や相手意識をもって学びに取り組むことができるようにする。

#### ・ワークシートの活用

伝統工芸品を紹介するリーフレットを作るという学習ゴールに向けて、各単位時間に必要な力を積み重ね、児童が自身で学習の過程を自覚しながら自己の学びを調整することができるように、単元計画と振り返りを一目で確認できるようなワークシートを活用する。また振り返りに書いた内容は授業導入時に全体で共有することで、意図的に協働学習を行うことができるように支援する。

### (3) 学びを深めるための工夫

#### ・協働的な学びの実現

並行読書を通して読んだ本の中で、おすすめの本や工芸品については、「おすすめ情報カード」に記録する。「おすすめ情報カード」には、工芸品名や生産地、魅力のポイントや参考文献を記入する。このカードを「焼き物、塗り物、木工と金工、布、和紙と文具、その他」の分類に分けてマトリックス表にし、教室内に常時掲示することで、児童同士が工芸品について自然に意見を交わすことができるように工夫する。

#### ・ICTの活用

リーフレットは、ICTを活用しながら文字と写真を入れて完成させる。下書きしたものを、推敲チェックシートを使って推敲し、精選した文章をタブレットで入力する。ICTを取り入れることで、児童の興味・関心を高めることができるようにする。なお、希望があれば手書きで作成することも可能にすることで、指導の個別化を図る。工芸品は、インターネットで検索したり、職人がものづくりをしている動画を視聴したりすることで、ICTを児童が進んで知りたい情報を得るためのツールとしても活用していく。

## 5.単元の指導と評価の計画

| 時 | 目標◆・学習内容                                                                                                                                                                             | 評価     |             |                                                             |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------|-------------------------------------------------------------|
|   |                                                                                                                                                                                      | 知<br>技 | 思<br>判<br>表 | 態<br>度                                                      |
|   |                                                                                                                                                                                      |        |             | ◎評価規準 <評価方法>                                                |
| 1 | ◆題名やリード文から工芸品に対するイメージを広げ、教材文を読んで学習計画を立てることができる。                                                                                                                                      |        |             |                                                             |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかわ伝統工芸展の写真を提示し、工芸品のイメージをもつ。</li> <li>・『未来につなぐ工芸品』という題名から、本文の内容に対するイメージをもつ。</li> <li>・教材文を読み、問いや感想をもつ。</li> <li>・問いを基に、学習計画を立てる。</li> </ul> |        |             | ①                                                           |
|   |                                                                                                                                                                                      |        |             | ◎学習の見通しをもって、教材文や、工芸品の資料を読もうとしている。<br><発言・記述>                |
| 2 | ◆本文を読み、文章構成をもとに、筆者の伝えたいことを捉えることができる。                                                                                                                                                 |        |             |                                                             |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落を「初め」「中」「終わり」分け、文章構成を捉える。</li> <li>・双括型の文章を捉え、筆者の伝えたいことをまとめる。</li> <li>・『工芸品のみりよくを伝えよう』のリーフレットを提示し、要約の学習の見通しをもつ。</li> </ul>                | ②<br>③ |             |                                                             |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工芸品について書かれた本を並行読書して、興味をもった本をおすすめ情報カードにまとめる。</li> </ul>                                                                                       |        |             |                                                             |
|   |                                                                                                                                                                                      |        |             | ◎段落の役割を理解し、筆者の考えをまとめている。<br><発言・記述>                         |
|   |                                                                                                                                                                                      |        |             | ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。<観察・記述>           |
| 3 | ◆目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。                                                                                                                                                        |        |             |                                                             |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上巻「思いやりのデザイン」「要約するとき」を活用し、要約について既習内容を振り返る。</li> <li>・本文の全文シートから、要約に必要な語や文を見つけて、サイドラインを引く。</li> </ul>                                         |        | ②           |                                                             |
|   |                                                                                                                                                                                      |        |             | ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。<発言・記述>             |
| 4 | ◆「中」で挙げられた事例は、何を説明するために述べられているのかを読み取ることができる。                                                                                                                                         |        |             |                                                             |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの工芸品の事例を要約する。</li> <li>・工芸品の事例を挙げることの良さを考える。</li> </ul>                                                                                    | ③      |             |                                                             |
|   |                                                                                                                                                                                      |        |             | ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。<記述> |
| 5 | ◆目的を意識して、中心となる語や文を使って本文を要約することができる。                                                                                                                                                  |        |             |                                                             |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の全文シートを活用し、中心となる語や文を友達と交流する。</li> <li>・本文で筆者が伝えようとしていることを捉えて、二百字以内に要約する。</li> <li>・要約した文章を紹介し合いながら、要約の仕方の工夫を伝え合う。</li> </ul>               |        | ②           |                                                             |
|   |                                                                                                                                                                                      |        |             | ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。<発言・記述>             |

|             |                                                                                                                                                                                     |   |   |   |                                                                                                                                       |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6<br>本<br>時 | ◆要約した文章を基に、筆者が伝えようとしていることに対する自分の考えを伝え合うことができる。                                                                                                                                      |   |   |   |                                                                                                                                       |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・要約した文章を紹介し合いながら、筆者が伝えようとしていることを捉える。</li> <li>・筆者の考えに対する自分の考えをワークシートにまとめる。</li> <li>・自分の考えを基に、友達と交流する。</li> </ul>                            |   | ③ |   | ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。＜発言・記述＞                                                                                     |
| 7           | ◆自分が選んだ伝統工芸品について、情報カードを基に情報を整理することができる。                                                                                                                                             |   |   |   |                                                                                                                                       |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報カードを基に、伝統工芸品の魅力をワークシートに整理する。</li> <li>・書き出した内容を精選し、リーフレット作りに必要な情報を整理する。</li> <li>・整理した情報を、友達と紹介し合う。</li> </ul>                            | ① |   |   | ◎引用の仕方、出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解して使っている。＜観察・記述＞                                                                                             |
| 8           | ◆リーフレットに載せる文章の組み立てや資料を考えることができる。                                                                                                                                                    |   |   |   |                                                                                                                                       |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が作成したリーフレットのモデルを提示し、文章の組み立てを考える。</li> <li>・文章に添える絵や写真を考える。</li> <li>考えた組み立てを友達と交流する。</li> </ul>                                           |   |   | ① | ◎自分が興味をもった工芸品について調べたりまとめたりしようとしている。＜観察・記述＞                                                                                            |
| 9<br>10     | ◆必要な情報や文章構成を考えながら、リーフレットに載せる文章の下書きをすることができる。                                                                                                                                        |   |   |   |                                                                                                                                       |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ本を活用し、伝統工芸品の良さや魅力を中心に文章を要約する。</li> <li>・文章に合わせて必要な絵や写真をレイアウトする。</li> <li>・要約と自分の考えを区別しながら、つなぎ言葉に着目して書く。</li> <li>・書いた文章を推敲する。</li> </ul> |   | ① | ② | ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。＜発言・記述＞<br><br>◎進んで、指示する語句と接続する語句の役割を理解し、学習課題に沿って中心となる語や文を見つけて要約しようとしている。＜観察・記述＞ |
| 11          | ◆レイアウトを工夫して、リーフレットを完成させることができる。                                                                                                                                                     |   |   |   |                                                                                                                                       |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・推敲した文章を基に、要約した文章を清書する。</li> <li>・リーフレットの表紙、裏表紙を作る。</li> </ul>                                                                               |   | ① |   | ◎「書くこと」において、書き表し方を工夫している。＜発言・記述＞                                                                                                      |
| 12          | ◆友達とリーフレットを読み合い、感想を交流することができる。                                                                                                                                                      |   |   |   |                                                                                                                                       |
|             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の方に向けた内容という観点も視野に入れながら、完成したリーフレットから伝統工芸品のどのような魅力が伝わってくるかを交流し合う。</li> </ul>                                                                |   | ③ |   | ◎「読むこと」において、友達のリーフレットを読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。＜発言・記述＞                                                                              |

## 6. 本時の学習（6/12）

（１）ねらい 要約した文章を基に、筆者の伝えようとしていることに対する自分の考えを伝え合うことができる。

（２）展開

| 時間        | ○主な学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ※指導上の留意点<br>★評価 ＜＞評価方法                                                                                             |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8分        | <p>○前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>・要約文を使って、筆者の伝えたいことを整理する。</p> <p>本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>筆者の伝えたいことについてどう思ったか、感想を伝え合おう。</p> </div>                                                                                                                                 | <p>※学習計画表を確認しながら、前時に出た児童の振り返りを挙げ、本時の学習につなげる。</p>                                                                   |
| 2分<br>10分 | <p>○全文を通読する。</p> <p>○筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>☆自分の考えをまとめる視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめて知ったこと</li> <li>・驚いたこと</li> <li>・もっと深く知りたいこと</li> <li>・心に残ったこと</li> <li>・筆者の考えに共感したこと</li> <li>・これから、自分はどうしていきたいか など</li> </ul> </div> | <p>※前時までに要約したワークシートと、本文の全文シートを活用しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>★「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p>             |
| 10分       | <p>○自分の考えを友達と交流する。</p> <p>・ワークシートを基に、ペアで考えを交流する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>＜発言・記述＞</p> <p>※友達の考えから新たに意見をつけ足したり、訂正したりしてもよい旨を伝える。</p> <p>※自分の考えを書き終えた児童からペアで交流する。交流メモを使って、考えを広げられるようにする。</p> |
| 10分       | <p>○見つけたよいところを発表し、全体で価値を共有する。</p> <p>C1 工芸品が日本の文化や芸術を未来につないでいることに驚いた。</p> <p>C2 環境のことを考えて作られていてすごいと思った。</p> <p>C3 色々な工芸品にふれて、そのよさを知りたい。</p> <p>C4 自分も「一人の職人」として自分にできることを考えていきたい。</p> <p>C5 工芸品がこれからもずっと大切に受け継がれていってほしい。</p>                                                                                                      | <p>※考えの交流では、どの視点で【自分の考え】をまとめたのかが分かる板書を活用し、児童が意図的にペアを選んで交流できるようにする。</p>                                             |
| 5分        | <p>○本時の学習を振り、次時につなげる。</p> <p>・自分が選んだ工芸品について、リーフレットに載せる魅力ポイントを考える。</p> <p>・振り返りシートに感想を書き、次時のめあてを確認する。</p>                                                                                                                                                                                                                         | <p>※工芸品を知らない外国の方にリーフレットを通して工芸品の魅力を伝えることを知らせる。</p>                                                                  |